

たけべ中学生だっぴ × たけべ部

～中学生が地域と自分の未来を描く場づくり～

「たけべ中学生だっぴ」

- ・ **1年に1回実施**
- ・ 中学校の授業の一環として開催
- ・ 様々な大人や大学生との出会い
- ・ 多様な価値観を理解
- ・ 自己肯定感や自己効力感の向上
- ・ 将来像を描く力の醸成



たけべ中学生だっぴの一幕①



たけべ部 たけべ駅清掃活動

「たけべ部」

- ・ **1か月に最低1回実施**
- ・ 部活動ではなく自由参加
- ・ 中学生主体の活動
- ・ すべての決定権は中学生に
- ・ 大人はサポート役に徹する
- ・ 地域とのつながりを深める
- ・ 活動の見える化

「だっぴ」で得た刺激を日常へ

地域・企業の参画



たけべ中学生だっぴの一幕②



たけべ部 マルシェ出店のクレープ試作



たけべ部 新入生レクリエーション

活動実践により
地域の協働が活発化

地域の問題と中学生を取り巻く環境

- ・ 岡山市北区建部町は人口減少問題が著しい
2006年6400人→2018年5550人→2025年4848人
- ・ 学習環境の制約もあり、私立中学への受験数も増加
- ・ 多様な価値観との出会いや自己承認の機会が不足
- ・ 地域には高校がなく、進学時には生活基盤が町外へ
- ・ 中学生が将来像を描きにくい課題
- ・ 卒業までに私たちができることは何か？

中学生の変化と地域への波及

- ・ だっぴでの学びや気づきを日常へ落とし込むことに成功
- ・ たけべ部への参加は発足当初の約5人→平均20人以上へ
- ・ 一度でも参加した生徒は発足当初10%→50%へ
- ・ 建部駅清掃、マルシェ出店、PR動画制作などを実践
- ・ 地域の課題を通じて中学生たちが様々な活動考えた
- ・ 特にたけべ部では地域愛の醸成、世代間協働の促進が顕著
- ・ 活動の見える化による共感と応援の広がりを感じられた